



地方独立行政法人

北海道立総合研究機構

産業技術環境研究本部 工業試験場・ものづくり支援センター

ー 3Dプリント技術で広がる可能性 ー

# 「おたる水族缶」に学ぶ地域連携とものづくり

令和7年度3Dデジタル造形研修 第1回 3Dプリント活用事例紹介セミナー



## 「おたる水族缶」とは？

おたる水族館の獣医師が作った動物達を3Dスキャンし、就労支援施設で3Dプリント&缶詰め。地元企業と連携して誕生した、開けて楽しい“缶の中の水族館”。地域資源×デジタル技術×福祉が融合した、観光土産と社会課題解決を両立する“ソーシャルプロダクト”です。2025年北海道お土産グランプリ金賞受賞。

今回のセミナーでは、「おたる水族缶」の企画から製造、販売まで携わった3名のキーパーソンにご登壇いただきます。水族館の生き物たちを生き生きとした造形で再現した原型を製作された、おたる水族館の角川氏。本商品の開発を発案し、「おたる水族缶」の製造を担っている北海道済生会の土谷氏。そして、商品企画、工作機器の選定、販路開拓など、「おたる水族缶」のトータルプロデュースを手がけた大海氏を講師にお招きし、開発経緯や製造工程、地域連携や福祉支援への効果についてご解説いただきます。

## 講師

おたる水族館 飼育部長/獣医師

角川 雅俊 氏

社会福祉法人恩賜財団済生会支部北海道済生会  
支部事務局 総務企画室兼ソーシャルインクルージョン推進室  
兼経営企画室 主任

土谷 浩大 氏

株式会社エムブイピークリエイティブジャパン 代表

大海 恵聖 氏



## プログラム

13:15 開会挨拶

13:20 「おたる水族缶」の概要説明

13:30 講師3名によるトークセッション・質疑応答

2025年 9月17日(水) 13:15 - 15:00

会場：道総研工業試験場 研修室+オンライン配信 (zoom)

(札幌市北区北19条西11丁目：アクセスは裏面に記載)

参加費  
無料

# 令和7年度 3Dデジタル造形研修 第1回

製造業におけるDX化・デジタル化が進む中で、3Dモデリングや3Dプリンターは不可欠なツールとなっています。しかし、海外に比べて日本国内ではその導入が遅れているのが現状です。本研修では、3Dプリンターや3Dスキャナーなどの「3Dデジタルツール」を活用した事例をわかりやすくご紹介します。会場ではサンプルを展示いたしますので、手に取ってご覧いただけます。今後の製品開発・研究開発に向けた情報収集や新人研修の場としてお気軽にご参加ください。

## WEBからのお申込み



左のQRコード、または下記URLのお申し込みフォームからお申し込みください。

<https://forms.gle/GmrBp5TrU1cJRVNFA>

## メールでのお申込み

件名を「3Dデジタル造形研修第1回申込」として頂き、下記の情報をメールにご記載の上、[kaihatsu@hro.or.jp](mailto:kaihatsu@hro.or.jp)までお送りください。

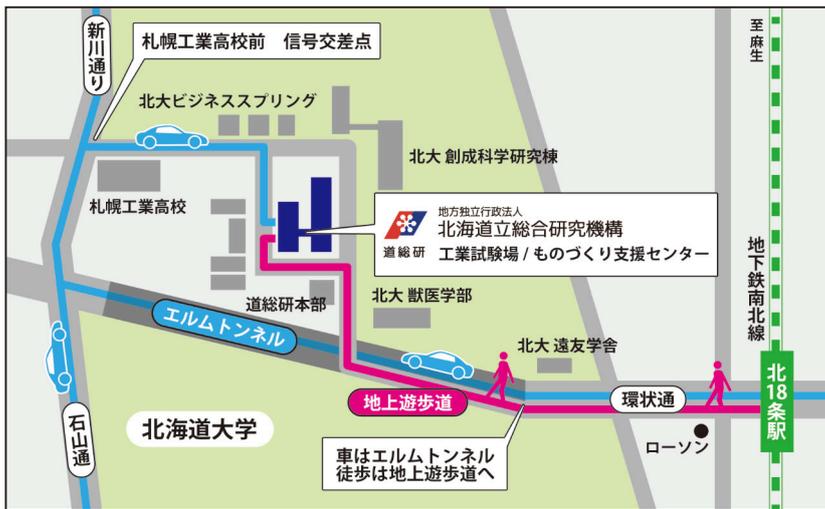
- ・貴社名 ・所在地 ・業種 ・参加者氏名（ふりがな付）
- ・参加者所属 ・ご連絡先（メールアドレス、電話番号）
- ・参加方法（来場 or オンライン）

**お申込み締め切り日 : 2025年9月10日(水) まで**

## お問い合わせ先

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部  
ものづくり支援センター（担当：都築）  
〒060-0819 札幌市北区北19条西11丁目  
電話：011-747-2324（直通）/FAX：011-726-4057/E-mail：kaihatsu@hro.or.jp

**会場へのアクセス : 札幌市北区北19条西11丁目 道総研工業試験場1F 研修室**



### ▶徒歩（約1km）

市営地下鉄南北線「北18条駅」より徒歩約15分  
※エルムトンネルの上を通ります。  
**地上遊歩道**をご利用ください。

### ▶車

JR「札幌駅」北口より車で約15分  
※新川通の「札幌工業高校前信号交差点」からのみお入りいただけます。  
※地下鉄北18条駅側から来られる場合は、**エルムトンネル**をご利用ください。

本研修は、地域活性化雇用創造プロジェクト事業の一環として実施しています。ご参加いただいた企業の皆様には、研修会終了後に雇用面での取組や、雇用実績などの調査をお願いしております。今後の取組の資質向上に役立てる目的ですので、ご協力をお願いします。

※記載いただいた個人情報は、研修・セミナー等の運営目的以外では使用いたしません。